

【南区】令和7年第2回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和7年6月11日（水） 11時00分～11時50分
場 所	南区役所 7階 701～702会議室
出席者	<p>【座長】渋谷健議員 【議員：2名】高田修平議員、仁田昌寿議員、熊本ちひろ議員 【南区：24名】高澤和義区長、濃野誠副区長、 大塚貴司福祉保健センター長、 鈴木陽子福祉保健センター担当部長、 藤江千瑞土木事務所長、柴田尚正南消防署長（災害対策 担当部長）ほか関係職員19人</p>
議題	令和7年度 南区個性ある区づくり推進費 執行計画等について
発言の要旨	<p>《副区長による説明》</p> <p>【渋谷議員（座長）】 説明が終わりましたので、質疑並びに意見交換を行いたいと思います。 ご意見のある方はどうぞ。いかがでしょうか。</p> <p>【高田議員】 何点か、事業内容について教えてください。 先ず、4ページ「こどもログハウス管理運営費」について、永田みなみ台公園にありますが、以前私が夏に伺った時もエアコンの効きが悪くて、利用者も利用しづらかったようです。昨今、真夏は猛暑で、窓を開閉しながらで遊んでいました。この管理運営費には、エアコン設置費用が含まれているのでしょうか。</p> <p>【中野 地域推進課長】 管理運営費には、エアコン設置は含まれていません。ログハウスの構造上、エアコンを設置しても効きが良くないということもあり、設置は難しいと考えております。ただ、扇風機などを付けて、風通しを良くしていきたいと考えております。</p> <p>【高田議員】 確かに、構造上、効き目があるかないかということもあると思いますので、扇風機を設置するなど、様々な対策をしていただきたいと思います。 次に、7ページ「みなみ桜まつり事業」について、今年も大変賑わっていました。大岡川プロムナード沿いで、人が多かったため、道に出たりする方がたくさんいたかと思いますが、警備上どのような対策をしているのでしょうか。</p>

発言の
要旨

【中野 地域振興課長】

大岡川プロムナードは、警備委託をしており、警備会社の警備員がパトロールをしております。

【高田議員】

分かりました。私が行ったときは見当たらなかったのですが、警備していただいていることが分かりましたので、引き続きよろしくお願ひします。

次に、6ページ「魅力発信事業」についてです。新たに、インスタグラムで様々な魅力発信を始められたので、私もフォローさせていただきました。お店の動画編集など、非常に分かりやすくて良いなと思い応援しています。現在、フォロワー数が少ないのかなと思いますが、今後どのような展開をしていくのでしょうか。例えば、食のことでしたら、横浜市でインスタグラムを使用し食発信をしている方をフォローするなど、どのように考えているのか教えていただきたいです。

【黒田 区政推進課長】

インスタグラムのフォローをしていただきありがとうございます。ご質問の今後の展開についてですが、今回、ポータルと併せて、公式のインスタグラムを使ったのが一つポイントと考えております。これから順次、ハッシュタグのキャンペーン等とコンテンツの充実と併せ、双方向で拡大していくことに着手してまいりたいと考えております。今、おっしゃっていただいた、食のことや、「みなみやげ」のコンテンツも順次掲載してまいります。また、区内の良いところ等も、スタンプラリーの実施などと併せて投稿を促すなど、双方向でやり取りできるような機能を十分に生かし、展開、拡大してまいりたいと考えております。

【高田議員】

ありがとうございます。

次に、17ページの防犯対策についてです。地区懇談会などで特殊詐欺のことがかなり話題に出ていますが、南区は1月～3月で横浜市の中で一番件数が多かったので、しっかり力を入れて対策していくべきだと思います。資料の「(3) 防犯啓発活動」や「(5) 防犯情報提供等」に該当すると思います。これらの事業は「拡充」となっていませんが、特殊詐欺が増えていることについてどのような周知啓発をしていくのか教えていただきたいです。

【中野 地域振興課長】

先生がおっしゃる通り、件数が過去最悪と言われております。南警察署からも、特に特殊詐欺が毎日のように増えていると聞いております。区役所では、広報やチラシ配布を行っています。それ以外にも、南区独自のもので、消費生活推進委員が高齢者の食事サロンなどに出向き、「特殊詐欺は危ない、引っかかるないように」というような内容の出前講座を行っております。昨年も、いくつかの地域で出前講座を行っていますので、今後も引き続き行っていきたいと思っております。

発言の 要旨	<p>【高田議員】 是非、お願いいいたします。 最後に、21 ページ「外国人共生支援事業」について、「新規」マークが付いた、「外国人市民が地域とつながる取組を進めます」についてです。中区で、外国人の方向けに防災に関するセミナーを行ったと伺っております。南区も外国籍の方が多いと思いますが、この新規の取組はどのようなものか教えてください。</p> <p>【中野 地域振興課長】 新規の取組として、これまでに寿東部、南永田団地等で行っておりました生活ガイダンスについて、新たに、南区に住んでいる外国人の方を広く募集しまして、応募があった方々に対し、生活ガイダンスや困っていることなどの質疑応答を行います。また、生活ガイダンスの中で、防災に関することも実施したいと思っております。もう1つの取組としましては、南区文化祭の中で、それぞれの国の特徴などを披露していただくような場を設けて交流を図りたいと考えております。</p> <p>【高田議員】 ありがとうございます。地域のなかでは扱い手不足等の課題があると思いますが、外国籍の方が地域にどのように関わっていくのかということも大変重要と思っています。先ほど岸部議員からもゴミ出しについてのご発言がありましたが、恐らく、地域に関わっていきたい外国籍の方もいらっしゃると思いますので、町内会に加入していただけるような取組を実施していただきたいと思いますが、その点はいかがでしょうか。</p> <p>【中野 地域振興課長】 地域の方と繋がっていただくために、まずは町内会に入っていただくことが1番早いと考えております。国際交流ラウンジでは、転入して日本の生活について聞きに来た場合、必ず自治会町内会のことを紹介してもらう取組を行っています。外国人の方の中には、自治会町内会というものがよく分かっていらっしゃらない方もたくさんいます。転入時に、日本には自治会町内会があり地域のことをやっている人たちがいる、ということをまずは教えて頂き、自治会町内会に入っていただく取組をしております。</p> <p>【高田議員】 地域と繋がることの重要性について共通認識を持つことが大切だと思っています。例えば、防災についてならば、地震の際には自分の命が助からなくていけない等、地域と繋がることを考えるきっかけをつくるあげることが大事だと思いますので、そういうことも考え、是非引き続き取り組んでいただきたいと思います。以上です。</p> <p style="text-align: center;">*****</p> <p>【熊本議員】 ご説明ありがとうございました。何点か質問させてください。4ページ</p>
-----------	---

発言の要旨	<p>「区民利用施設」について、エアコンの設置状況をお伺いします。スポーツ会館のエアコンが付いていないと伺いましたが、設置状況等分かれば教えていただきたいです。</p> <p>【中野 地域振興課長】</p> <p>六ツ川スポーツ会館には、エアコンが設置されていません。無料で使える施設であるということ、高速道路の下にありガスが使えないためガスのエアコン設置ができないこと、電気のエアコンでは体育館を冷やすのは容量的に難しいことがエアコンを設置していない理由です。</p> <p>【熊本議員】</p> <p>分かりました。ありがとうございます。</p> <p>次に、11 ページ「健康づくり推進事業」についてです。「若い世代に关心の高い内容を入り口に」と記載していますが、若い世代の方は、病気などにならないとなかなか健康づくりに視点がいかないと思います。「若い世代に关心の高い内容」というのは、具体的にどのようなものなのか教えていただきたいです。</p> <p>【御小柴 福祉保健課長】</p> <p>先生がおっしゃった通り、若い世代の方は自分の身体にも自信があり、なかなか健康行動に結びつきません。けれども、40 代、50 代に入ってからいろいろ生活習慣病の芽が出てくるのは、20 代、30 代からの生活習慣が大切であると認識しております。なかなか関心を持ってもらえない世代向けに、YouTube 等を活用していこうと考えております。今、「推し活」が、若い世代に非常に人気があり、推し活をテーマに、「推しに対し健康的で美しい自分であるために、推し活を元気にするために自分の健康や生活に目を向けてみませんか」という動画を作成し、YouTube 等で特定の年代、南区民の方に条件を指定して、集中的に広告を流すということを行います。先ずは、「自分が健康であるためには今から何かをしなければいけない」と気付いていただき、そこから健康づくりの情報にアクセスをしてもらうというアプローチを実施したいと考えております。</p> <p>【熊本議員】</p> <p>ありがとうございます。大変興味深く聞いておりましたが、この広告動画は私も見ることできるのでしょうか。</p> <p>【御小柴 福祉保健課長】</p> <p>はい、ご視聴いただくことは可能でございます。既に、YouTube 等で一部放映開始しております。また、別途先生にも、URL 等をお知らせさせていただきます。15 秒版と 30 秒版という非常に短いものですので、是非ご覧いただければと思っております。</p> <p>【熊本議員】</p> <p>ありがとうございます。参考にさせていただきます。</p> <p>最後に市民の方の声を聞いての質問です。南区の人口を見ますと高齢者の方の割合が多くなっており、子育て世代の方の中には少し窮屈に感じて</p>
-------	---

発言の
要旨

いる部分があるという話を聞いております。子育て支援事業もやっていたりいますが、どうしても縦割りになってしまっていると感じています。例えば、子育て世代と高齢の方が触れ合える居場所づくりのような、多世代の交流が進む取組をもう少し拡充してほしいと感じています。多世代交流について行っている取組があれば教えていただきたいです。

【横森 こども家庭支援課長】

南区では、子どもの居場所づくりということで、市内 30 か所の地域団体、ボランティア、NPO 法人など含めて、こども食堂や学習支援等の広場など居場所があります。そのなかには、民生委員さんが開催しており、多世代交流的な色合いを持っているものもあります。ただ、そのような生の声があるということは、子育て世代のみなさんの中には窮屈な思いをしている方がいるという重要な意見だと思います。その様な意見を踏まえ、実施している事業の中で広げられるものがあれば、今後検討していきたいと思います。

【熊本議員】

ありがとうございます。恐らく、民生委員さんをされている方は意識の高い方々だと思いますので、一般の市民の方の多世代交流をもう少し大きくできたら良いと思っております。子どもや自分よりも若い方と触れ合うとエネルギーをもらえて元気になることが多いです。子育て世代とご高齢の方を繋ぐことで、ご高齢の方も健康に元気になることに繋がりますし、子育て世代の方も人生の先輩方から何か支援いただけるのではないかと考えておりますので、是非よろしくお願ひいたします。以上です。

【仁田議員】

2 点に絞って質問と、要望をさせていただければと思います。

先ず、8 ページの「南区文化祭支援事業」に関連して、南区には区民文化センターがありませんが、ないことが良いか悪いかということよりは、必要かどうかという問題だと思います。区民文化センターがないのは、18 区の中では、いわゆる旧市街地の中区、西区及び南区並びに保土ヶ谷区です。中区、西区には様々な文化施設がありますので、そういう意味では保土ヶ谷区と南区に区民文化センターがないことになります。私は従前から、区民文化センターの機能が必要だと申し上げています。集まる場所、また発表する場所という機能だけではなく、区民文化センターには様々な機能があり、南区らしい、必要な機能の持たせ方があると思います。

「南区文化祭支援事業」では、みんなの合唱祭、区民ステージ、フラフェスタ、その他区民創作作品展の開催などがありますが、南区の伝統的な文化、地域に根差した文化が、もっと色濃くあって良いと思います。そのような文化を活性化させる機能が本当に市民の中で求められているのか、そういうことにすら発想がいかないような状況にあるのか、諦めにも似た思いがあるのかもしれません。先ほどからの「南区の活性化」という観点から言いますと、南区に根差した文化を、あるいはその活動をどうやって行政として後押していくのかということです。そこで、明るく元気な南区を

発言の 要旨	<p>つくっていくこともあっても良いと思いますが、ご意見いただければと思います。</p> <p>【中野 地域振興課長】</p> <p>南区文化祭は、合唱祭、区民ステージ、フラフェスタと区民創作作品展が恒例となっており、そのなかに、例えば、お茶室を作る、昨年はアフリカの方たちに来ていただいて交流を図る、といったことをやっておりますが、先生がおっしゃるような区民文化センターの機能を果たしているかと言いますと、この文化祭だけでは難しいと考えております。南区には、「『あつたかみなみ』活動支援補助金」があり、文化活動の活性化、まちのにぎわい創出、そういう活動をしている団体への補助を行っております。今年度に申込みをいただいている団体としては、例えば、SDGsをもじった書道展があります。こちらは、かなり多くの方たちが吉野町市民プラザで出展をされております。他にも、南区は桜のまちということで、区制80周年で作った歌を広く拡げられるように、中高生の吹奏楽部で演奏ができるように楽譜を作ってくれる団体もあります。いわゆる、南区が好きな方たち、南区で賑わいをつくっていきたい、文化をつくっていきたいと思ってくれている団体に補助しているというのが南区の現状だと思います。</p> <p>【仁田議員】</p> <p>南区の底上げという観点から、少し長い目で見た時に、そういう観点で南区は元気になっていくと思います。南区の旧市街地としての様々な財産が時代とともに失われていくのか生きかしていくのかについてもう少し議論していただけだと良いと思います。2004年の提言を受けて、横浜市は文化芸術創造都市を目指してきましたが、20年という節目で新たな事業展開をしようとしていますし、10年先を見据えた文化ビジョンを作ろうとしています。1つの転換点でもありますし、新たな事業を起こすチャンスでもあるところに南区はどうコミットするのかということも、忘れてはいけない観点だと思います。残念ながら、創造界隈がいわゆる海側の方ですので、国内外で界隈の壁になっています。これについて、内陸部はどうするのかという議論が当然されており新たな観点があると思いますが、文化芸術創造都市を目指す横浜の都市像が南区にまで及んでいるとはとても言い難いというのが、これまでの私自身の実感です。これを今後、どのように生かしていくのかという観点もしっかりと見据えて、区づくりの中で反映していくと良いと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>【高澤区長】</p> <p>「南区の文化」と言ったときに、先ほど地域振興課長が申しました、各活動団体がされている活動教育文化、また、地域の方が昔から守っていたいっている文化、そうした文化があると私は思っております。活動団体については、区でも補助事業で支援させていただいておりますが、地域に根付いた文化を地域のなかでどう守っていくのかが非常に問題になってくると思っております。先生がおっしゃった、例えば、「市としての文化」といいますと、どうしても港の方の文化を指す場合が今まで多かったので、そういうものと、区で守っていく文化というのは少し違うのでは、と思っています。そのため、これからは、活動による文化と地域に根付いた文</p>
-----------	--

発言の要旨	<p>化をどう守っていくのかということが、1番、区としては大事な視点だと思っております。少子高齢化や代替わりで、地域の文化を継続するのが難しいというお声も聞いており、大切にしながらどう守っていくのかということを、これから区としては検討してまいりたいと思っています。その中で市の計画とコミットメントできるところがあれば連携してまいりたいと思っております。</p> <p>【仁田議員】</p> <p>答えが今あるわけではないですが、そういう視点の質疑がこれまでできませんでしたので、また、タイミングが難しいですが、今回敢えて課題として提供させていただきました。南区がもう一回活性化することに寄与するものは何か、その在り方について、今、区長がおっしゃったような、残すという消極的な姿勢よりは、生かしていくという観点で、もっと発想できないかと思いますのでご検討いただければと思います。</p> <p>次に、21ページ「外国人共生支援事業」についてです。南区には約90か国の方がいらっしゃいまして、私は「小さな地球だ」と言っておりますが、どのようにして共生していくのかが大きな課題であると思います。生活ガイダンスのやり方も、各自でアクセスしてガイダンスに来るということですが、外国人のみなさんと地域社会とを繋ぐことを誘導するような仕組みができれば良いと思っております。多文化共生ということが言われて久しく、南区らしい、次のコミュニティや地域社会の中で上手く溶け合って生きていけるような仕組みを、モデル的に何かできないかなと思います。外国人の方の中でネットワークや、コミュニティがあるのであれば、それらと地域を繋ぐ橋渡しのような機能があれば良いと思います。地域と繋がっていこうという意識がある方が、上手く繋がっていけるような仕組みができるかなとも思います。今の事業を踏まえながら、これからどうしていくのかということも新たな展開としてご検討いただければと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>【中野 地域振興課長】</p> <p>外国人の方のコミュニティについては把握しておりませんが、国際交流ラウンジでボランティアとして働いている方のなかに、日本語教室の支援を一緒にしていただいている方たちがいます。区民の方ですので、そういった方たちを通して、外国人の方に地域の活動に参加してもらったという事例はいくつかあります。例えば、寿東部地区では、ボランティアの方が外国人にも声をかけて一緒に清掃活動を行っています。他にも、防災訓練に参加してもらったりしています。また、弘明寺には留学生会館がありますので、その人たちとも繋がっています。個の繋がりですが、地域に繋げていきたいと考えております。</p> <p>【仁田議員】</p> <p>留学されている方にということもありますが、もう一方で、外国人の方はどういうところに居て、地域とどう繋がっているのか、テーマとして勉強されている学生などが、サポートを受けながら、外国人と地域との繋がりを作っていることもあるかもしれません。いろいろなことをご検討いただいて、多文化共生のモデル的な南区の在り方というものを是非、模索し</p>
-------	--

発言の
要旨

ていただければと要望しておきたいと思います。何かあればお願ひします。

【高澤区長】

ご意見ありがとうございます。南区は横浜市内でも3番目に外国人が多いまちであり、外国人と日本人を繋ぐコーディネーターの方を国際交流ラウンジから集住地区に派遣していただいて、外国人が一緒になって生活ができるような取組もしていただいております。これからも、国際交流ラウンジと連携を図りながら、一緒に暮らしていけるようなまちづくりを進めてまいりたいと考えております。ありがとうございます。

【熊本議員】

もう1点、お聞かせください。15ページの「安全で安心して暮らせる、持続可能なまちづくり」の「みなみ減災推進事業」のところで、「共助」の「災害時要援護者支援事業」についてお伺いします。横浜市では個別避難計画を作成していくと聞いていますが、区役所で行う作業もあるのでしょうか。

【加藤 高齢・障害支援課長】

個別避難計画につきましては、今、健康福祉局が中心となって行っております。災害時にご自身で避難が難しい方について、予めどのように避難するかの計画を作るということですが、ご自身で作れる方も少ないので、基本的にはケアマネージャーさんや計画支援相談員さんなどの支援者の方、ご家族の方がいらっしゃれば、ご家族の方が中心となって作っていただけるように進めております。

【熊本議員】

ありがとうございます。南区のある介護事業者さんが災害の時に何か手助けをしたいということで、自分の事業所に置いてあります自動販売機を災害時には鍵で開放して、飲み物などを配れるようにしているということを聞きました。その他にも、例えば、「白杖がたくさんあるから災害時には配れます」、「ポータブル電源などを貸出できます」という事業者さんが多くいらっしゃるようです。そういう方々を集めて、区役所と連携し、災害時に地域の要援護者の方を支援したい事業者さんがいらっしゃり本当にすばらしいと思いました。地域の事業者さんと行政が連携するような取組などは今までありましたでしょうか。

【加藤 高齢・障害支援課長】

今、南区では特に災害時要援護者支援ということではやってはいませんが、例えば、地域ケアプラザエリアごとに地域ケア会議を年に数回開催しております。その会議には、例えば地域の薬局さんや事業者さんも参加し、地域の人たちとケアプラザと行政で、「災害時にこういうことができますよ」というような情報交換をしております。協定を結ぶところまではまだやっておりませんので、今回いただいたご意見を参考に検討してまいりました。

発言の要旨	<p>いと思います。どうもありがとうございます。</p> <p>【熊本議員】 ありがとうございます。地域ケアプラザでの会議には様々な団体さんが参加されていますので、こうした内容を、個別避難計画作成の際に参考にするなど、行政の方で繋げていただけたら良いと思います。よろしくお願ひします。</p> <p>*****</p> <p>【渋谷座長】 他に発言がないようですので、この程度にとどめたいと思います。 以上、本日の議事は終了いたしました。</p>
-------	---